

株主通信

vol.50

RYOWA REPORT

空 気 と 水 の テ ク ノ ロ ジ ー

第76期 業績のご報告

2024年4月1日～2025年3月31日

ごあいさつ／トップインタビュー	①
施工実績	④
テクノ菱和の技術の紹介	⑤
テクノ菱和のCSR	⑥
連結財務情報	⑦
会社概要／株式の状況	⑨

空気と水のテクノロジー

株式
会社 **テクノ菱和**

証券コード 1965

株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第76期(2024年4月1日から2025年3月31日)の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員

加藤 雅也
Kato Masaya



経営理念

「空気と水のテクノロジー」を通じて
環境にやさしい生活空間の創造を目指す。
環境エンジニアリングを中核事業とし、
ひろくお客様から「信頼」される企業を目指す。
人材の育成・教育を重視し
働き甲斐のある企業を築き、社会に貢献する。

行動規範三訓

逞しい心身の鍛錬
意志疎通の徹底
技術力の研鑽

Q 当期の建設業界を取り巻く環境は
いかがでしたか？

A 当期のわが国経済は、物価高の影響で消費者の節約志向が高まったこともあり、個人消費に弱い動きがみられ、一部で景気回復の足踏み状態が続いておりましたが、インバウンド需要の回復や将来的な労働力不足などを見据えた省力化需要の高まりを受けて設備投資が堅調に推移するなど、全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。

建設業界におきましては、建設コストの上昇を懸念して、一部で設備投資計画を見送る動きがみられたものの、公共投資、設備投資ともに底堅く推移し、建設投資全体としては前年度と同水準での推移となりました。

Q 当期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの連結業績は受注高103,043百万円、売上高84,190百万円、営業利益9,629百万円、経常利益9,935百万円、当期純利益7,256百万円となりました。

当期は企業の設備投資意欲が追い風となり、複数の大型物件を受注できたことなどから、受注高は大幅に増加し、工事の進捗も順調に推移したことから、売上高も前期を上回る結果となりました。利益につきましては、売上高の増加や生産性の向上により、前期と比べて大幅な増益となりました。

	前期（百万円）	当期（百万円）
受 注 高	82,797	103,043
売 上 高	73,688	84,190
営 業 利 益	5,792	9,629
経 常 利 益	6,374	9,935
当 期 純 利 益	4,506	7,256

(注) 本報告書において、当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します。

Q 来期の方針を教えてください。

A 来期につきましては、中長期経営ビジョン「TECHNO RYOWA2032」や中期3か年事業計画に則り、成長・投資・ESGのそれぞれの取組み

を継続するとともに、業績が好調な今こそ新しいことにも挑戦し、会社の持続的な発展に繋げていきたいと考えております。具体的には、主力分野である産業設備工事の設計施工を中心に全体としてバランスの取れた受注を推進することに加え、新規の顧客獲得に向けた積極果敢なチャレンジを推進してまいります。また、社内の教育制度を充実させると同時に新卒・キャリア採用の活性化に向け新たな施策に重点的に投資してまいります。さらに、ESGへの取組みの深化として、当社が掲げるマテリアリティに全社で取り組み、CSR活動を通じて社会貢献と企業価値の向上に努めてまいります。

Q 来期の業績見通しを教えてください。

A 今後のわが国経済は、米国の関税措置による米中経済の悪化を起因として、米国の需要減退やアジア諸国の景気下押しから輸出の減少が見込まれ、生産活動が停滞することで企業収益の悪化や賃上げの抑制が懸念されており、先行きの景気は減速する見通しであります。一方で、建設業界におきましては、引き続き堅調な投資が続くと予想されることから、建設投資は総じて今年度と同水準で推移するものと思われますが、米国の関税政策等により、世界経済の不確実性が高まっており、企業の設備投資マインドを抑制するリスクが拭えないなど、先行きの不透明感から予断を許さない状況となっております。

このような状況を踏まえ、来期の連結業績見通しにつきましては、受注高84,000百万円、売上高90,000百万円、営業利益10,100百万円、経常利益10,400百万円、当期純利益7,300百万円を見込んでおります。

	来期予想（百万円）
受 注 高	84,000
売 上 高	90,000
営 業 利 益	10,100
経 常 利 益	10,400
当 期 純 利 益	7,300

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 当社グループといたしましては、将来を見据え、バランスのとれた受注を継続するとともに、安全品質管理に対しても真摯に取り組み、ステークホルダーのみなさまとの信頼を育めるよう、努めてまいります。また、建設業界では将来の担い手不足が深刻化しており、業界全体の課題となっております。厳しい状況ではありますが、当社は人が財産の会社であるため、社員教育と採用を含めた人的資本やDX関連に積極的に投資を行い、将来への種をまくことで、目標とする経営ビジョンの実現に向けた土台を作り、持続的な成長を目指してまいります。

昨年4月に社長に就任し、1年が経過しましたが、当期はおかげさまで好調な業績を維持することができ、売上

高、利益とも過去最高を更新することができました。これもひとえに株主のみなさまをはじめとするステークホルダーのみなさまの日頃のご支援のおかげであると感じ申し上げます。こうした状況のなかで、来期は「チャレンジ! 進め、前へ!」をスローガンとして掲げました。好調な今だからこそ、将来を見据えて新しいことにチャレンジする姿勢が重要であり、会社の持続的な発展に向けて、これからも挑戦を続けていきたいと考えております。当期の期末配当金につきましては、業績ならびに今後の事業展開等を勘案いたしました結果、1株につき50円とし、年間では前期より52円増配となる1株につき100円とさせていただきます。

当社グループのより一層の発展に向けて、全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。



東京応化工業株式会社 阿蘇工場阿蘇くまもとサイト



概要	
完成年月	2024年11月
施工地	熊本県菊池市
建物用途	工場・危険物取扱所
階数	地上2階（非危険・危険）、地上1階（一般）
工事範囲	空調・衛生設備工事

本物件は、九州において生産が拡大している半導体の製造過程で欠かせない高純度化学薬品を製造する工場で、熊本県内で2拠点目となる工場であります。同サイトは、1984年に開設された阿蘇工場との相乗効果により、高純度化学薬品の供給能力拡大や西日本エリアにおけるユーザーサポートの強化が期待されております。また、厳格な環境管理が求められるクリーンルームなどの設備を備えており、より高いレベルでの品質確保を可能にしております。

株式会社クボタ 枚方製造所T棟



概要	
完成年月	2025年1月
施工地	大阪府枚方市
建物用途	工場
延床面積	16,060㎡
階数	地上3階（組立棟）、地上5階（塗装棟）
工事範囲	空調・衛生・消火・自動制御設備工事

本物件は、同社が国内・海外ともにトップシェアを誇る小型建設機械製造の軸となる製造所であり、生産能力増強のため新たに整備されました。同製造所は、機械事業と水環境事業の両事業を支える製品を製造しており、同社で取り扱っている製品を網羅していることから「ミニクボタ」とも呼ばれております。また、小型建設機械製造の塗装工程において発生した廃熱の再利用や屋上への太陽光発電設備の導入など、環境にも十分配慮した設備が整えられております。

日本薬品工業株式会社 つくば工場3号棟



概要	
完成年月	2024年8月
施工地	茨城県筑西市
建物用途	工場
延床面積	2,388㎡
階数	地上2階
工事範囲	空調・給排水衛生・自動制御・消火

本物件は、ユーティリティ設備や全面免振構造を有する工場として、2014年3月に1階部分を使用して稼働を開始いたしました。同工場は、日本ケミファグループの「マザー工場」として医薬品製造の中枢を担っており、ジェネリック医薬品や品質保証の国際標準規格であるISO13485の認証取得による体外診断用医薬品の製造を手掛けております。今回竣工した、同工場3号棟2階部分における調剤からフィルムコーティングまでの工程を担う新設備は、製造能力の増強や安定供給の強化、さらなる品質の向上に繋がることが期待されております。

公立大学法人奈良県立医科大学 畝傍山キャンパス校舎



概要	
完成年月	2024年11月
施工地	奈良県橿原市
建物用途	学校
延床面積	30,594㎡
階数	地上3階
工事範囲	空調・給排水衛生・自動制御・消火

本物件は、建物の老朽化に加え、大学機能の多様化により既存施設が手狭になったことに伴い、新しく建設されたキャンパスであります。建物は日本最初の都城である藤原京をモチーフにして、古都奈良の歴史的な街並みに相応しい景観を形成するようなデザインを取り入れております。また、中庭を活用することで、自然採光や自然換気による省エネルギー化を実現し、環境負荷の低減を図っております。さらに、学生や教員だけでなく地域の方も利用できる広場を設け、地域交流の場としての機能も期待されております。



テクノ菱和の技術の紹介

私たちテクノ菱和は「空気と水のテクノロジー」を基本理念として、お客様のニーズに応える最適な環境システムの提供を目指し、新しい技術の研究開発に取り組んでおります。今回はそのなかから、気流・微粒子可視化システム「カシカ」についてご紹介いたします。

研究開発



気流・微粒子可視化システム ～ Wide-range PIV camera

可視化技術のひとつであるPIV解析（粒子画像流速測定法）は、通常肉眼で確認できない透明な空気や水にトレーサーを混ぜ、高速かつ高感度なPIVカメラとレーザーシート光源を用いて撮影し、その映像から流れ方向や流速の定量化解析を行う方法であります。従来の撮影範囲は縦0.5m×横0.5m程度の局所的な気流解析に限定されておりましたが、新しく開発された高出力レーザーと改善されたソフトウェアの組み合わせにより、縦3m×横3mの広範囲まで撮影範囲の拡大を可能にいたしました。これにより室内全体をカバーした解析が可能となり、空調・換気の計画や検証に使用することができます。

※ 本システムはレーザー機器クラス4の安全措施にて運用しています。

▼ R&Dセンターエントランスでの花粉可視化 (トレーサーは疑似花粉を使用)



エントランス

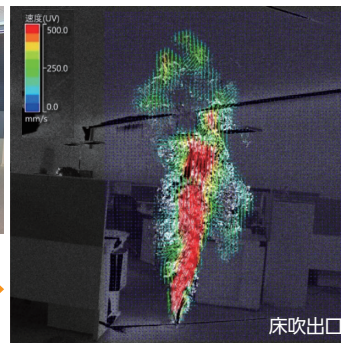


エントランス

▼ R&Dセンター2F事務室の床吹き出し空調の 気流速度可視化 (トレーサーはオイルミストを使用)



床吹出口



床吹出口



テクノ菱和のCSR



私たちテクノ菱和は、すべての事業活動を通じてステークホルダーのみなさまに対して、価値を創出し信頼を獲得していくことで、社会全体とともに持続的に成長していくことを目指し、継続的なCSR活動に取り組んでおります。

📺 コーポレートムービーの公開

当社は、ステークホルダーのみなさま向けに、テクノ菱和への理解をより深めていただけるよう、新しいコーポレートムービーを公開いたしました。

経営理念にも掲げている「空気と水のテクノロジー」をテーマに、業務内容や特色、沿革をはじめ、最先端のクリーンルームや、技術開発研究所について取り上げております。また、空気と水のイメージとなる泡のギミックを取り入れ、スタイリッシュな仕上がりのムービーとなっております。

ムービーでは視覚的に多くの情報を伝えることができるため、企業ブランドの向上や一般的な認知度の向上に繋がり、営業活動や採用活動にも利用しています。

ぜひこちらの二次元コードから、コーポレートムービーをご覧ください。



コーポレートムービー

<https://www.youtube.com/watch?v=qQWIEPb14A0>



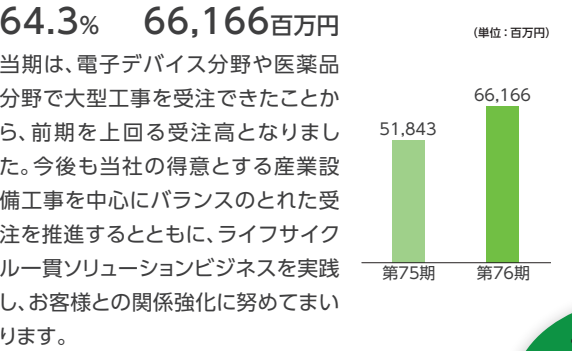
実施設計は運用

計画
提案

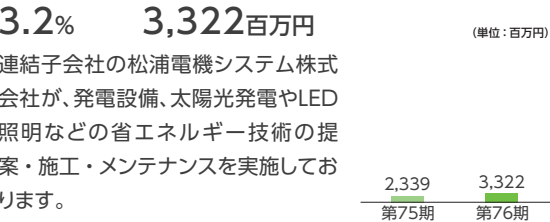
受注高	売上高	経常利益	当期純利益
103,043百万円 ＜前期比 24.5%増＞	84,190百万円 ＜前期比 14.3%増＞	9,935百万円 ＜前期比 55.9%増＞	7,256百万円 ＜前期比 61.0%増＞



産業設備工事



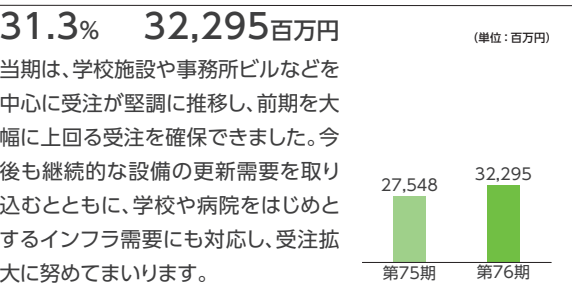
電気設備工事



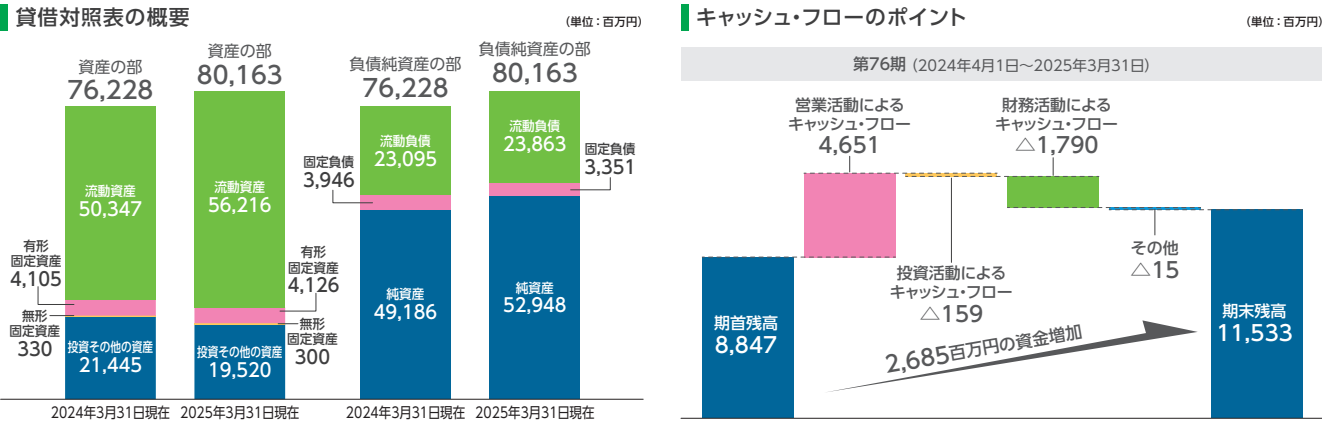
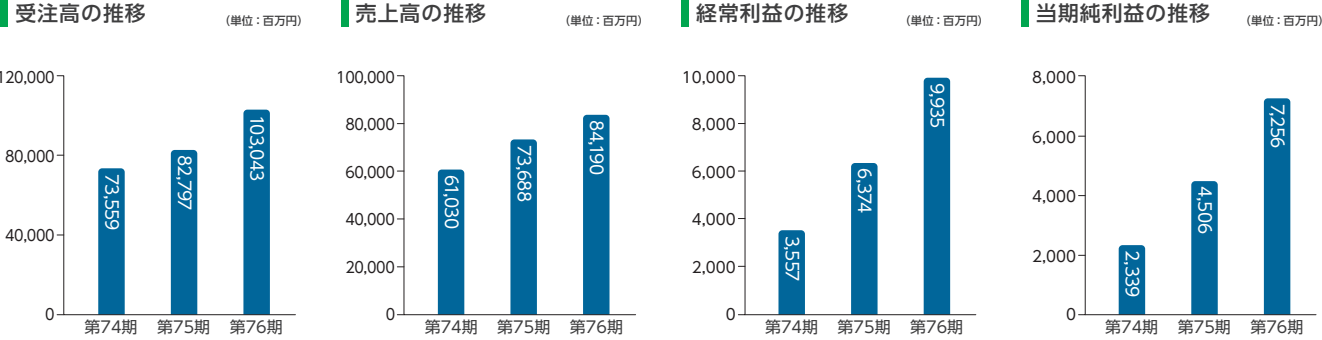
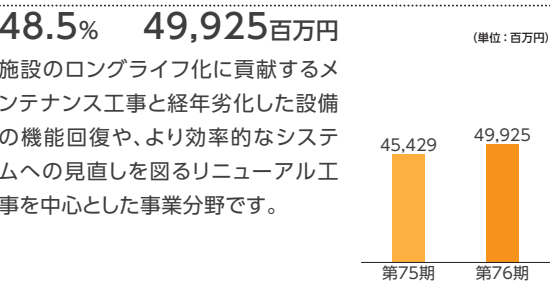
冷熱機器販売



一般ビル設備工事



設備改善工事



財務のポイント

資産の部

流動資産における受取手形・完成工事未収入金等の増加49億円、現金及び預金の増加26億円、電子記録債権の減少21億円、固定資産における投資有価証券の減少11億円、退職給付に係る資産の減少9億円を主な変動要因として、前期末と比較して39億円増加し、801億円となりました。

負債の部

流動負債における支払手形・工事未払金等の増加11億円、未成工事受入金金の増加4億円、未払消費税等の減少21億円、固定負債における繰延税金負債の減少7億円を主な変動要因として、前期末と比較して1億円増加し、272億円となりました。

純資産の部

利益剰余金の増加37億円、退職給付に係る調整累計額の減少10億円、その他有価証券評価差額金の減少7億円を主な変動要因として、前期末と比較して37億円増加し、529億円となりました。自己資本比率は前期末と比較して1.5ポイント上昇して66.0%となりました。

キャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の計上による資金増加101億円、仕入債務の増加による資金増加14億円、未成工事受入金による資金増加4億円、売上債権の増加による資金減少28億円、配当金の支払額17億円による資金減少を主な変動要因として、現金及び現金同等物は前期末と比較して26億円増加し、115億円となりました。

詳しい情報はウェブサイトへ

テクノ菱和 検索

会社概要（2025年3月31日現在）

商 号	株式会社テクノ菱和 (英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)
設 立	1949年12月23日
資 本 金	2,746,800,000円
上 場	東京証券取引所スタンダード市場
従 業 員	810名（連結940名）
本 社	東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地	東京都港区芝大門2丁目12番8号

事業内容 当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業
- 太陽光発電事業
- 一般ビル設備関連事業
- 不動産賃貸事業
- 電気設備工事業
- 保険代理業
- 冷熱機器販売事業

主な事業所（2025年6月26日現在）

技術開発研究所(神奈川県横浜市)	名古屋支店(愛知県名古屋市)
東京本店(東京都豊島区)	大阪支店(大阪府大阪市)
東関東支店(茨城県土浦市)	中国支店(岡山県倉敷市)
北関東支店(埼玉県さいたま市)	九州支店(福岡県福岡市)
東北支店(宮城県仙台市)	海外事業部(東京都豊島区)
横浜支店(神奈川県横浜市)	

役員（2025年6月26日現在）

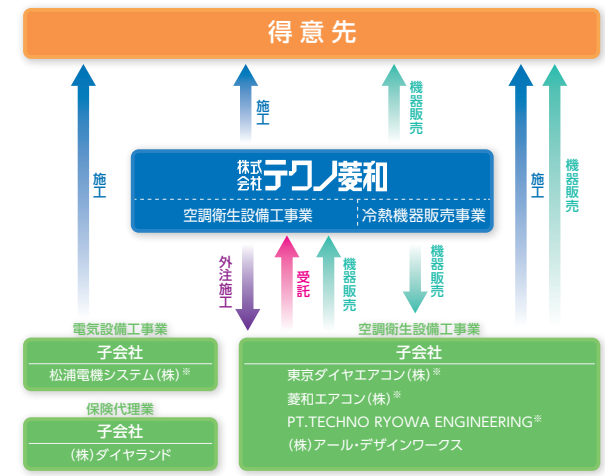
取締役	
代表取締役会長	黒田英彦
代表取締役	加藤雅也
取締役	大石勉
取締役	袴田一博
取締役	鈴木俊夫
取締役(社外)	田中雅敏
取締役(社外)	佐古麻衣子
取締役常勤監査等委員	常木茂
取締役監査等委員(社外)	大島浩司
取締役監査等委員(社外)	伊豫田至

執行役員

社長執行役員	加藤雅也
専務執行役員	大石勉
専務執行役員	袴田一博
常務執行役員	齋藤吉信
上席執行役員	黒田長憲
上席執行役員	窪和敏
上席執行役員	鈴木俊夫
上席執行役員	武田和夫
上席執行役員	水野則康
執行役員	武石義人
執行役員	大塚弘之
執行役員	菊池智克
執行役員	森茂樹
執行役員	本石圭三
執行役員	松下康司
執行役員	西小倉智

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイエアコン株式会社※	PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING※
所在地 東京都新宿区	所在地 インドネシア共和国
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
菱和エアコン株式会社※	株式会社アール・デザインワークス
所在地 愛知県名古屋市中	所在地 大阪府大阪市
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
松浦電機システム株式会社※	株式会社ダイヤランド
所在地 大阪府守口市	所在地 東京都港区
主要な事業の内容 電気設備工事業	主要な事業の内容 保険代理業



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待品「特選茶」

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

株式の状況（2025年3月31日現在）

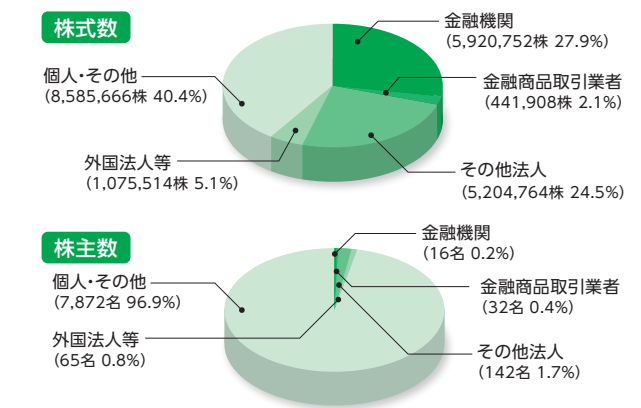
発行済株式の総数	21,228,604株
株主数	8,127名

大株主（2025年3月31日現在）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
テクノ菱和取引先持株会	2,182	10.2
三菱重工サーマルシステムズ株式会社	1,424	6.7
株式会社三菱UFJ銀行	971	4.5
株式会社みずほ銀行	971	4.5
株式会社名古屋銀行	738	3.4
明治安田生命保険相互会社	734	3.4
東京海上日動火災保険株式会社	725	3.4
株式会社京葉銀行	723	3.4
テクノ菱和従業員持株会	717	3.3
重田康光	640	3.0

※ 持株比率は、自己株式(9,287株)を控除して計算しております。

株式の分布状況（2025年3月31日現在）



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単 元 株 式 数	100株
公 告 掲 載 U R L	https://www.techno-ryowa.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
諸 手 続 き お 問 い 合 わ せ 先	【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】 ●証券会社をご利用の株主様 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 ●特別口座に記録された株式をご所有の株主様 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。 【株主総会資料に関する書面交付請求について】 株主総会資料は電子提供措置をとっておりますので、書面での送付をご希望の場合は、三菱UFJ信託銀行またはお取引の証券会社等を通じて、「書面交付請求」のお手続きを行ってください。 【未受領の配当金について】 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせください。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替えください

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。
ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替えください。
詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711（通話料無料）

株式会社 **テクノ菱和**

<https://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
お問い合わせ TEL : 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

